

紹介

アジア地域臨床獣医師研修事業の 平成30年度終講式が実施

日本中央競馬会特別振興資金助成事業であるアジア地域臨床獣医師等総合研修事業は平成30年度4月より第2期研修生としてモンゴル、中国、韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、タイ、ミャンマー、スリランカ、ベトナムより各1名を迎え、北海道大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、山口大学、宮崎大学、大阪府立大学、酪農学園大学、麻布大学、日本大学の協力を得て、

家畜の越境性感染症等に関する1年間の研修を実施してきた。全員が無事に研修を修了し、平成30年3月22日に日本獣医師会において終講式を実施した。

今回の研修において、1年間に渡り研修生へのご指導をいただいた10大学の関係者にこの場を借りて改めてお礼申しあげる。

研修生氏名	出身	研修先大学	帰国後の予定
ウランゴー・ツォグトバター	モンゴル	日本大学	中央獣医学研究所に復職
ハウ・シャンタオ	中国	東京農工大学	山東獣医職業学校講師に復職
イ・ホンジュ	韓国	東京大学	帰国後決定
ケイ・シギ	台湾	酪農学園大学	小動物臨床獣医師
クリストファー・ルヨング	フィリピン	北海道大学	公務員（野生動物救護）に復職
ヨリ・ズルファネディ	インドネシア	山口大学	動物衛生センターに復職
カーン・デュアンタティップ	タイ	宮崎大学	カセサート大学附属動物病院に復職
ソー・ティリ・カイ	ミャンマー	麻布大学	家畜繁殖センター（国家公務員）に復職
サミタ・ミーガハコトゥワ	スリランカ	大阪府立大学	州家畜生産・衛生局に復職
トランニャ・タン	ベトナム	岩手大学	タイグエン農林大学講師に復職



図1 酒井副会長から終了証を授与される研修生



図2 謝辞を述べる研修生



図3 第2期研修生